

## ①取り組みの体制

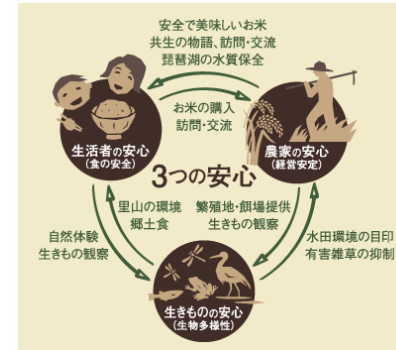
行政機関(滋賀県、高島市)、高島地域農業センター、市内小中学校、民間稲作研究所、アミタ持続可能経済研究所等と連携をとりながら、生物多様性保全型稲作を中心とした有機農業の振興を図っている。

## ②取り組みの主な内容

- たかしま有機農法研究会が中心となり、「生きものの安心(生物多様性の保全)」「消費者の安心(食べ物の安全性)」「農家の安心(農産物からの安定収入)」の3つの安心の確立を目指して「たかしま生きもの田んぼプロジェクト」に着手。
- 有機稲作の推進と併せ、冬季湛水、魚道・亀カエルスロープの設置、休耕田を活用したビオトープの設置など水田やその周辺の生物相に応じた生物多様性保全策を実施。
- また、農業者自らがマーケティングや営業活動、交流活動、情報発信などを実践することを通じて、「たかしま生きもの田んぼ米」のブランド化とファンづくりに取り組んでいる。有機大豆の生産や藁納豆の生産にもチャレンジ中。



## ④写真、絵、グラフ等プレゼン資料



「生活者」「農家」「生きもの」が共に安心できる関係づくりを目指し、各種活動を実施



20代の若手とベテランが共に技術研鑽に励む



独自の魚道・スロープの開発・設置



統一のロゴマークを使用した販売マーケティング活動

## ③生産概要

- 農業生産物の内訳  
米 約30ha、大豆 約2ha  
(いずれも栽培期間中 化学農薬・化学肥料不使用栽培)
- 協議会の農業者数  
現在 22戸 目標(平成24年度) 38戸
- 農産物の主な取引先  
百貨店、関東圏・関西圏の米穀店、インターネット等による直接販売 等

## ⑤協議会代表の一言

自然環境の豊かさと農業者の層の厚さが自慢です。安全性や環境保全、そして食味にこだわった高島の産物を、是非お試しください。

## ⑥連絡先: 高島有機農業推進協議会 事務局

高島市役所 産業循環政策部 農林水産振興課内(担当: 石田 可奈子)  
〒520-1592 滋賀県高島市新旭町北畑565  
電話: 0740-25-8511 / FAX: 0740-25-8519  
E-Mail: norin@city.takashima.shiga.jp